

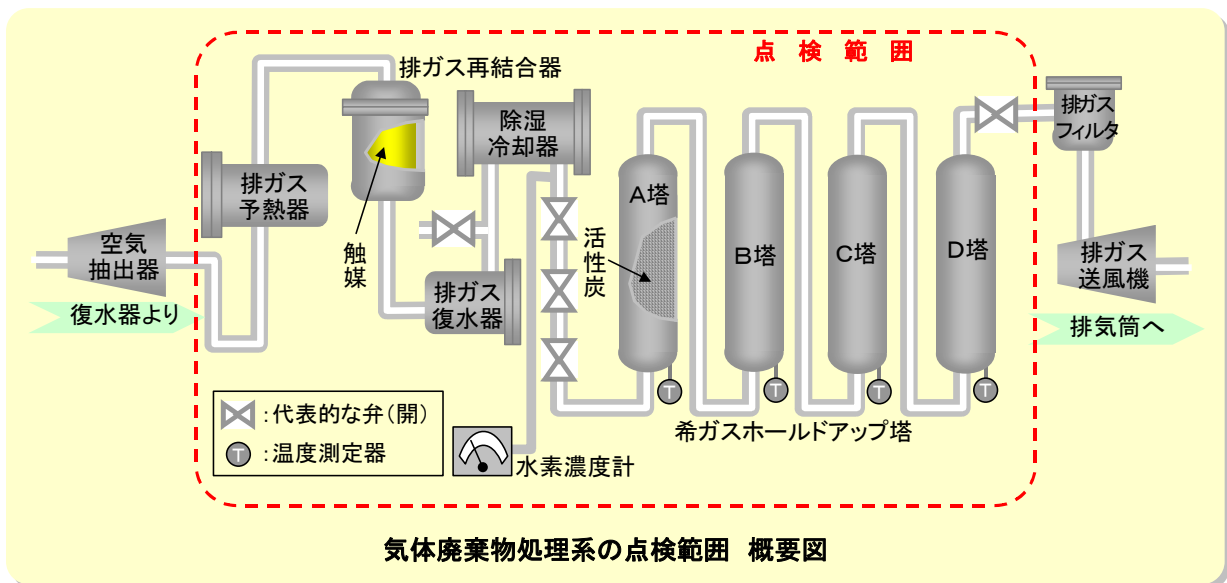
浜岡原子力発電所5号機 気体廃棄物処理系の点検状況について

平成 20 年 11 月 18 日

5号機気体廃棄物処理系(※1)のうち、排ガス予熱器から希ガスホールドアップ塔(※2)までの範囲の機器、配管、弁および計測機器について点検を実施しています。

また、事象発生時の運転履歴、排ガス再結合器に使用されている触媒や希ガスホールドアップ塔に使用されている活性炭の確認などを実施し、系統内の水素濃度が上昇した原因および希ガスホールドアップ塔の温度が上昇した原因について、調査を進めています。

なお、点検結果および調査結果については、まとまり次第お知らせいたします。



【これまでにお知らせした内容】

5号機は、平成20年11月5日午前9時31分、発電機出力約110万キロワットにおいて、気体廃棄物処理系で系統内の水素濃度が上昇する事象が確認されたため、運転状況の監視の強化等を行っていたところ、午後3時45分、同系統内の希ガスホールドアップ塔にて温度上昇が確認されたため、午後4時15分に原子炉を手動停止しました。
([平成20年11月5日公表資料](#))

気体廃棄物処理系の点検の準備作業として、11月6日より同系統内の残留ガスを窒素ガスにより置換することとしました。
([平成20年11月6日公表資料](#))

気体廃棄物処理系系統内の残留ガスの置換作業が11月9日に完了し、同日より、気体廃棄物処理系の点検作業を開始しました。
([平成20年11月10日公表資料](#))

- ※1 気体廃棄物処理系は復水器に流入する「水素」、「酸素」および「気体状の放射性物質（希ガス）」を処理する系統です。
このうち「水素」と「酸素」は同系統で処理（再結合反応）され水となります。
- ※2 希ガスホールドアップ塔は、放射性的の希ガスを一定期間活性炭に吸着させて放射能を減衰させる装置です。

以上